

第55回 『あいおの会』

- 失語症友の会 -

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの方は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

2、第55回「あいおの会」

平成29年4月30日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、第55回失語症友の会が開かれました。今回は、失語症患者様7名とご家族様、言語聴覚士など多数の方にお集まりいただき、賑やかな雰囲気でした。

新年度が始まり、改めて自己紹介カードを作成しました。毎年作製している「自己紹介カード」に加え、今年は1人1問質問に答えていただく時間を設けました。質問はくじ引き形式で行いました。皆さん色々な質問に思い思いに答えていらっしゃいました。自己紹介後はビンゴ的当てゲームという今回は体を使ったゲームを取り入れてみました。新聞紙で作成したボールを左手で投げて的に当てながらビンゴを狙うゲームです。チーム対抗戦で行い結果は同点となりましたが白熱した試合が展開されました。最後に春にちなんで「春が来た」と「花」を歌いました。

次回は平成29年6月4日(日)13時から、国際医療福祉大学熱海病院で行います。

会場は地下1階会議室となります。



改めて、皆さんの自己紹介を行いました



普段よりも大きなビンゴに盛りあがりましたね